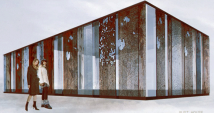
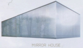
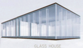


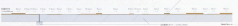


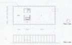


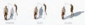
錆びの家

MIRROR HOUSE > RUST HOUSE > GLASSS HOUSE

スチールのサンプル：時間経過を経て徐々に錆が進行し、やがて表面は剥離していく。この自然の効果を利用した住宅を提案する。



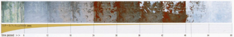




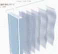
environment
光、風景など

スチールフィルムは、雨水や結露等といった環境に過敏に反応し、その表層を多様に変化させる。これにより、環境を「反射」させていた表皮は「サビ」となり、やがて「透過」させるものとなる。

reflection 反射 …… **rust** 錆 …… **penetrate** 透過



スチールフィルムは、時間の経過と共に酸化し、錆を生じる。錆びはやがて剥離し、反射性は透過性へと変容していく。
この変容は、住民と周辺環境との関係性を定義付けるものとして機能する。
当初、スチールフィルムによって環境の中に消失していた住宅が、腐食する一定の時間的猶予を経て、徐々に環境に溶け込む様子がゆるやかに描き出される。



このガラス表面には様々な幅・厚みでスチールフィルムが重ね張りされている。ガラス面へのフィルムの貼付方法は、真空金属蒸着法にイオンビーム照射を同時に行うダイナミックイオンミキシングを用いる。

さらに、その表面にMgF2（フッ化マグネシウム）による紫外線透過誘導体を施す事により平滑性を高め、高反射の仕上がりを確保すると共に安定した耐候性を得る事が可能になる。
またそれらの [illegible] 事で長期間に及ぶガラス面保護を [illegible] できる。

2004 8/20

私は平凡に暮らすサラリーマンだと思っていた。
どうしてこんな目に遭うのだろうか。

もう、あいつは戻ってこないだろう。
あの日、何もかも失ってしまったのだ。
社会から拒絶され、私は猜疑心の塊のようだ。

周りのみんなが怖い、とても一怖い。

2012 5/25

静かだ。
この静穏な生活に今は満足している。

ふと気づくと、壁にひびが入っている。
隙間からは一筋の光が差し込み始めたようだ。

今は膝を抱え、その光を見つめている。
ただ、じっとしているのだ。
外から微かな音が聞こえてくる。
その小さな環境の変化に耳を澄ますように
緊張感の中に身を沈める。

2020 9/16

外はやや初秋の様相を呈してきた。
隙間から見える公園の木々の色づきが毎日気になってしまう。
これから秋の長雨の時期だ。

ある雨の日の午後、突然、大学の旧友が訪ねてきた。
噂で私の事を聞いたのだろうか。
私を気遣ってか、言葉少なに、話も早々に帰っていった。

それでも懐かしい話で気持ちが晴れたように思う。
明日はお礼の手紙をしたためよう。

2023 1/21

今年の雪はずいぶん多い。
私がここに住むようになってからは一番積もっている。
今朝も起きたら20cmは積もっていた。

いつもガラス越しに会釈程度だった隣人と話をする機会があった。
彼女は何年も前に最愛の夫を事故で亡くしたという。
それでも女手ひとつで子供を育てている。強い人だ。

比べて私は―。

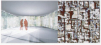
2025 4/3

春、桜のつぼみもふくらんできている。

時間を見つけては彼女と話をするようになった。
彼女の子供は大学に通うために引っ越したそうだ。
挨拶をしたがハッキリとした目鼻立ちは親譲りだろう。
良い子だ。

週末に桜祭りがあるようだ。
彼女を誘ってみようか。

ふと気づけば前を向いて他人と関わりあう自分が居た。
もう私は独りではないのだ。



2028 3/21

ついに恋人と結婚をする事になった。
周りの人や友人も祝福してくれている。

心地よい光に包まれて、気分はとても良い。

私はここに居るのだ。
かけがえのない家族とともに。

そして私は強くなろう。
手の中にある宝物を守るのだ。
これから、ずっと。